

# MINATO OPINION

ミ ナ ト オ ピ ニ オ ン

この冊子は、平成 29 年 9 月に実施した「第 31 回港区民世論調査」の結果の概要版です。  
ご協力いただきました区民の皆様に心から感謝申し上げます。

## 【調査の概要】

### ■調査設計等

【調査対象】港区在住の満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標本数】2,000 人

【抽出方法】住民基本台帳からの層化無作為抽出

【調査方法】郵送配布・郵送又はインターネットによる回収

【調査期間】平成 29 年 9 月 4 日（月）～9 月 19 日（火）

【有効回収数】826 人

【有効回収率】41.3%

### ■調査項目

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| (1) 定住意向             | (7) 区内での買い物 |
| (2) 区政全般             | (8) 災害対策    |
| (3) 区基本計画            | (9) 生活安全    |
| (4) 外国人の地域参画と協働      | (10) 平和     |
| (5) 区内共通商品券（スマイル商品券） | (11) 差別     |
| (6) 港区の景観            |             |

※ 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。

※ 回答率は百分率で算出し、小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

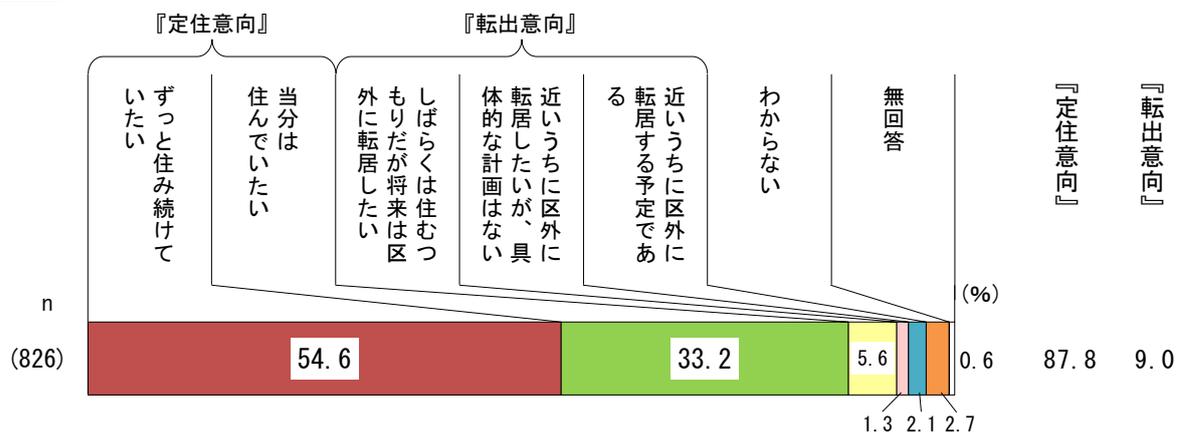
※ 複数回答の設問では、回答率の合計が 100%を超える場合があります。

# 港 区

# 1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(54.6%)が5割半ばで最も多く、これに「当分は住んでいたい」(33.2%)を合わせた『定住意向』(87.8%)は9割近くとなっています。一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」(5.6%)と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」(1.3%)と「近いうちに区外に転居する予定である」(2.1%)を合わせた『転出意向』(9.0%)は1割未満となっています。(図1)

図1

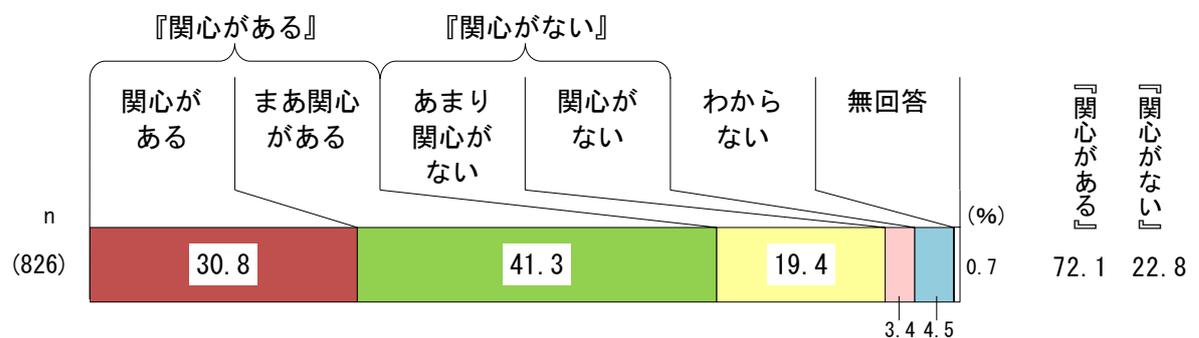


# 2 区政全般

港区政に関心があるか聞いたところ、「まあ関心がある」(41.3%)が4割を超えて最も多く、これに「関心がある」(30.8%)を合わせた『関心がある』(72.1%)は7割を超えています。

一方、「あまり関心がない」(19.4%)と「関心がない」(3.4%)を合わせた『関心がない』(22.8%)は2割を超えています。(図2)

図2

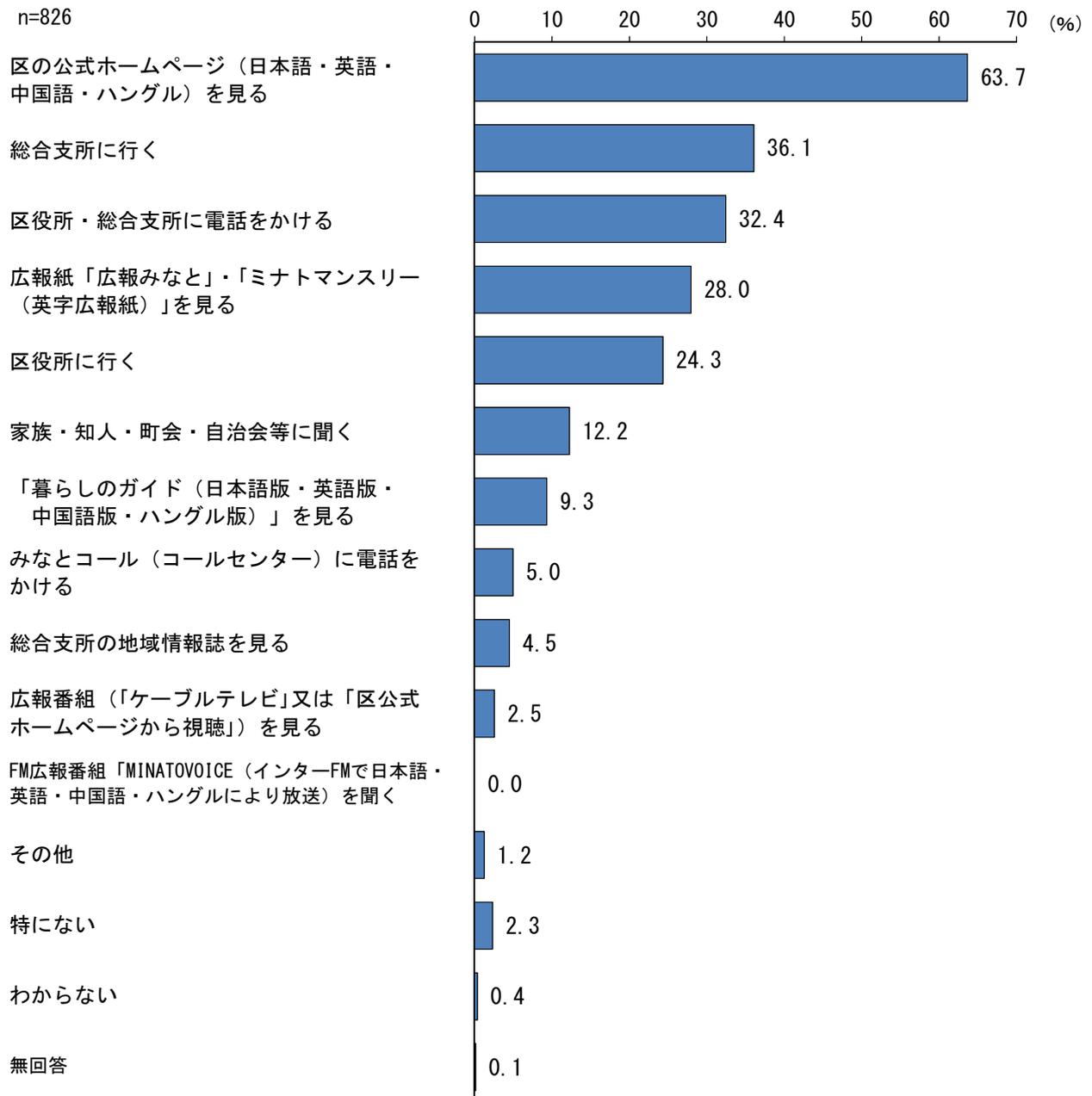


区の行政サービスや手続きの方法を知りたいとき、どのように情報を入手するか聞いたところ、「区の公式ホームページ（日本語・英語・中国語・ハングル）を見る」（63.7%）が6割を超えて最も多く、次いで「総合支所に行く」（36.1%）、「区役所・総合支所に電話をかける」（32.4%）、「広報紙「広報みなと」・「ミナトマンスリー（英字広報紙）」を見る」（28.0%）と続いています。

（図3）

図3

n=826



### 3 区基本計画

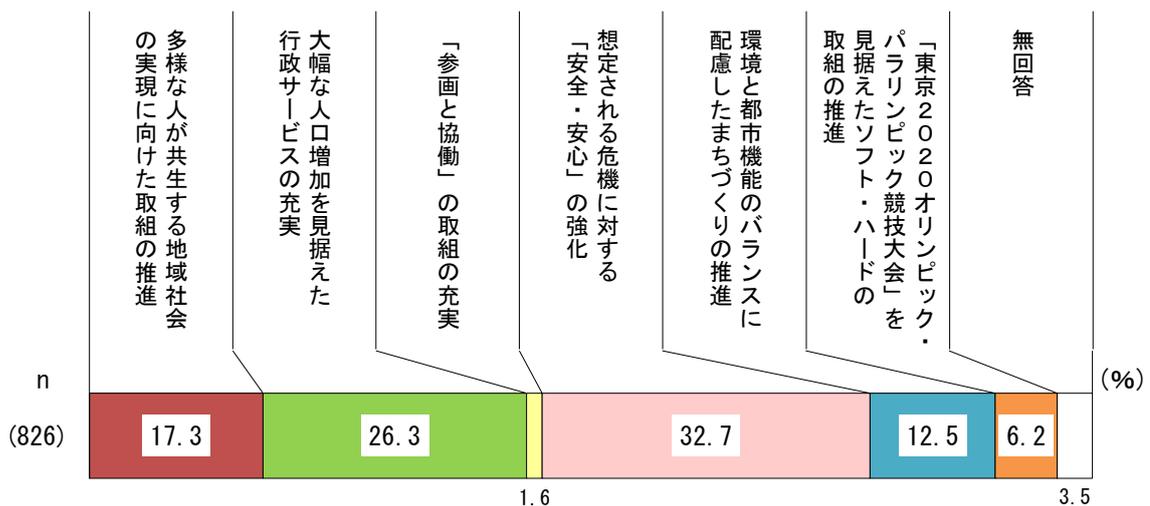
現行の「港区基本計画（平成 27 年度～平成 32 年度）」が、平成 26 年度に策定されたことを知っているか聞いたところ、「知っている」（13.2%）は 1 割を超え、「知らない」（86.3%）は 8 割半ばとなっています。（図 4）

図 4



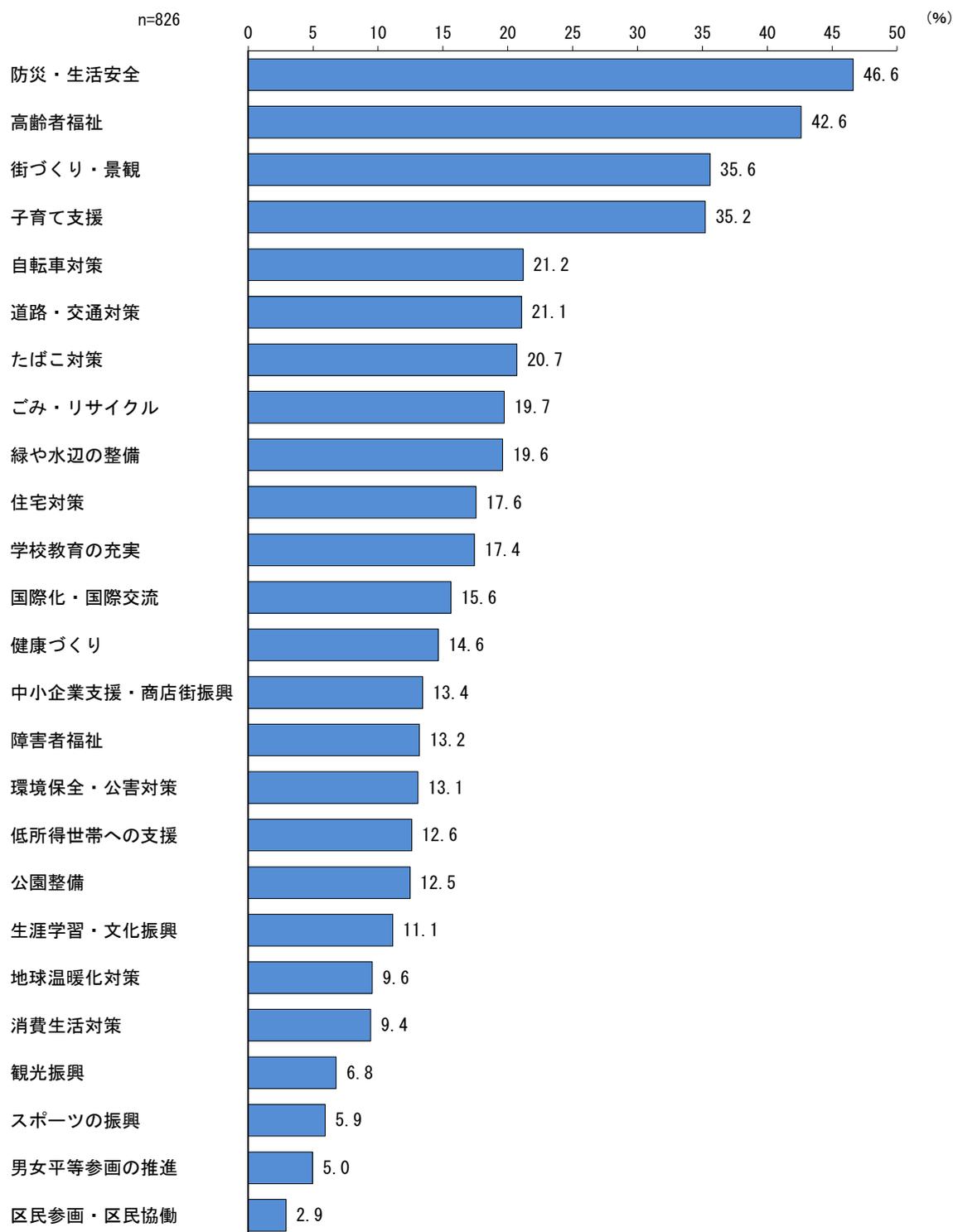
特に優先的・重点的に取り組むべき 6 つの重点課題のうち、今後、区が特に重点的に取り組むべき課題だと思ふものを聞いたところ、「想定される危機に対する「安全・安心」の強化」（32.7%）が 3 割を超えて最も多くなっています。「大幅な人口増加を見据えた行政サービスの充実」（26.3%）、「多様な人が共生する地域社会の実現に向けた取組の推進」（17.3%）が 2 割近くとなっています。（図 5）

図 5



今後、港区が特に重点的に取り組むべき政策を聞いたところ、「防災・生活安全」(46.6%)が5割近くで最も多く、次いで「高齢者福祉」(42.6%)、「街づくり・景観」(35.6%)、「子育て支援」(35.2%)と続いています。(図6)

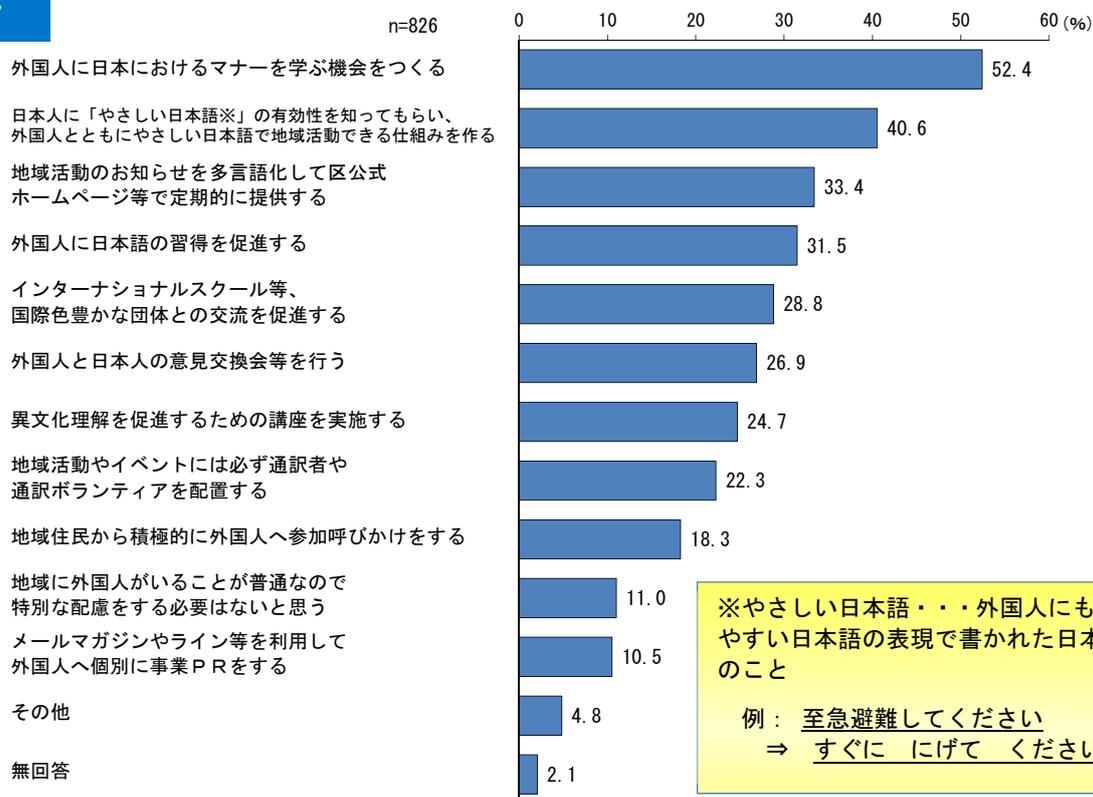
図6



## 4 外国人の地域参画と協働

日本人と外国人がともに考え、行動し支え合える地域社会を作り上げていくためにどのような取組が必要か聞いたところ、「外国人に日本におけるマナーを学ぶ機会をつくる」(52.4%)が5割を超えて最も多く、次いで「日本人に「やさしい日本語※」の有効性を知ってもらい、外国人とともにやさしい日本語で地域活動できる仕組みを作る」(40.6%)、「地域活動のお知らせを多言語化して区公式ホームページ等で定期的に提供する」(33.4%)と続いています。(図7)

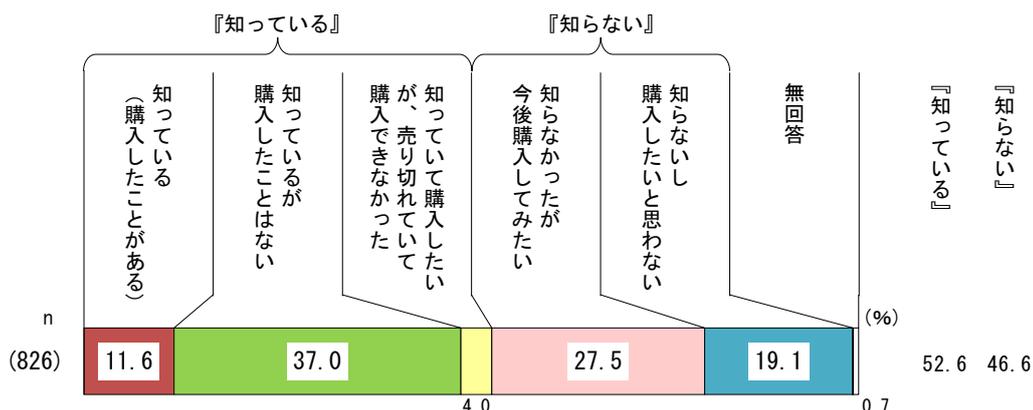
図7



## 5 区内共通商品券（スマイル商品券）

「プレミアム付き区内共通商品券」を知っているか聞いたところ、「知っているが購入したことはない」(37.0%)が4割近くで最も多く、これに「知っている(購入したことがある)」(11.6%)と「知っていて購入したいが、売り切れていて購入できなかった」(4.0%)を合わせた『知っている』(52.6%)は5割を超えています。一方、「知らなかったが今後購入してみたい」(27.5%)と「知らないし購入したいと思わない」(19.1%)を合わせた『知らない』(46.6%)は5割近くとなっています。(図8)

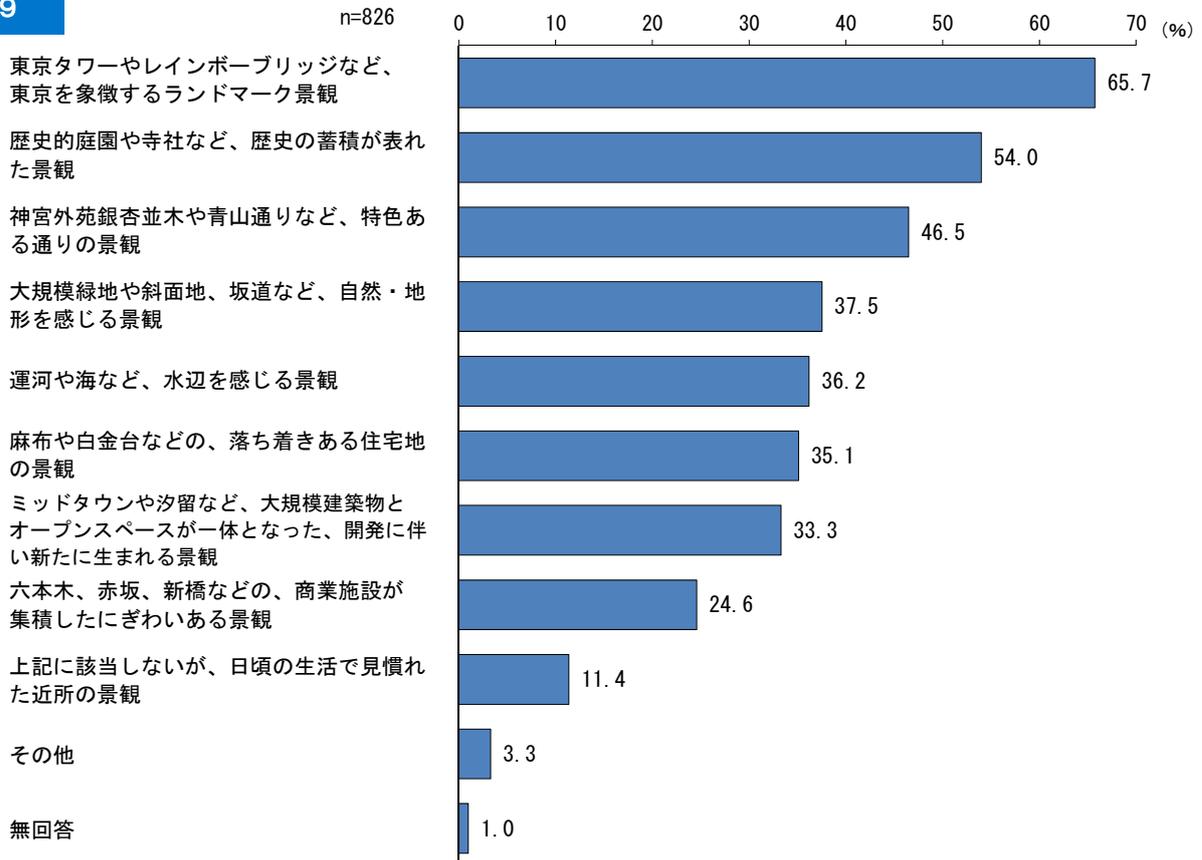
図8



## 6 港区の景観

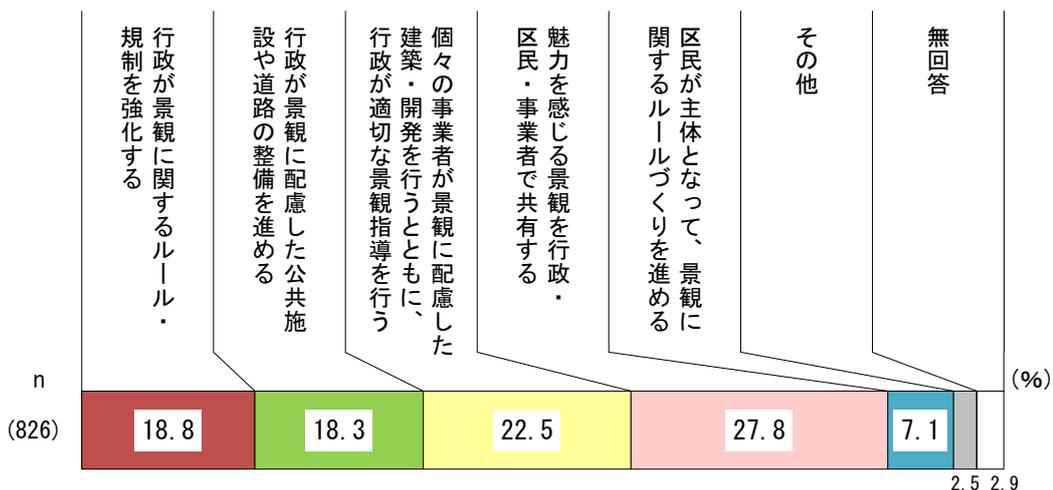
誇りや愛着を感じられる港区の景観を聞いたところ、「東京タワーやレインボーブリッジなど、東京を象徴するランドマーク景観」(65.7%)が6割半ばで最も多く、次いで「歴史的庭園や寺社など、歴史の蓄積が表れた景観」(54.0%)、「神宮外苑銀杏並木や青山通りなど、特色ある通りの景観」(46.5%)、「大規模緑地や斜面地、坂道など、自然・地形を感じる景観」(37.5%)と続いています。(図9)

図9



港区の景観を良くしていく（良い景観を守る、又は創出する）ために、最も重要なことを聞いたところ、「魅力を感じる景観を行政・区民・事業者で共有する」(27.8%)が3割近くで最も多く、次いで「個々の事業者が景観に配慮した建築・開発を行うとともに、行政が適切な景観指導を行う」(22.5%)と続いています。(図10)

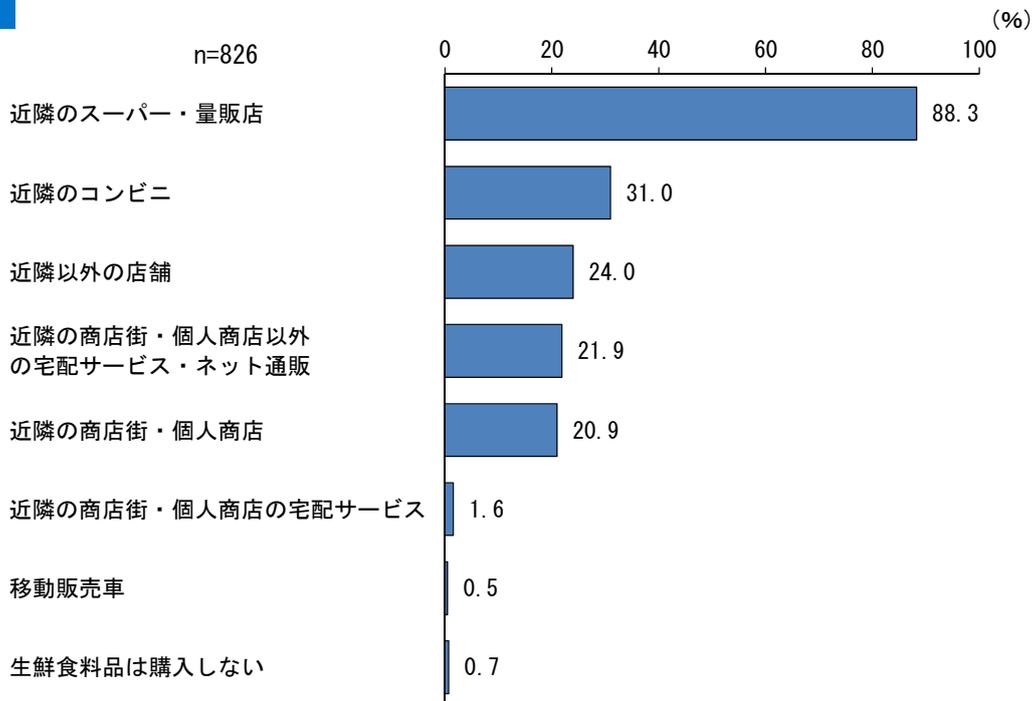
図10



## 7 区内での買い物

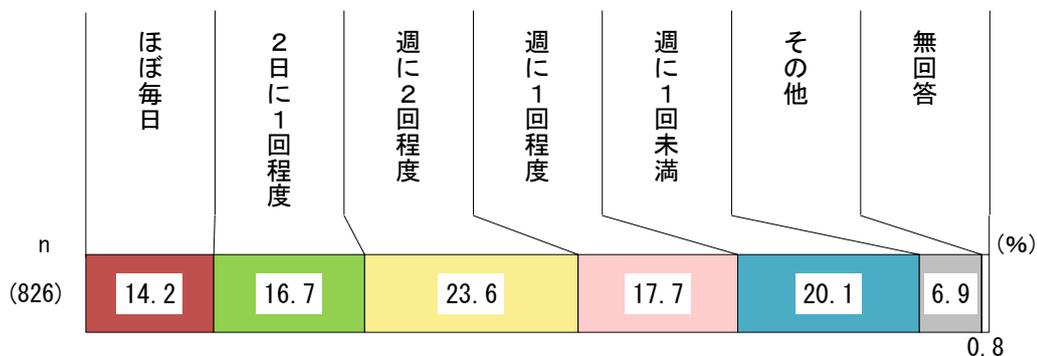
生鮮食料品をどこで購入しているか聞いたところ、「近隣のスーパー・量販店」(88.3%)が9割近くで最も多く、次いで「近隣のコンビニ」(31.0%)、「近隣以外の店舗」(24.0%)と続いています。(図11)

図11



近隣の商店街へ週何回くらい買い物に行くか聞いたところ、「週に2回程度」(23.6%)が2割を超えて最も多く、「週に1回未満」(20.1%)、「週に1回程度」(17.7%)と続いています。(図12)

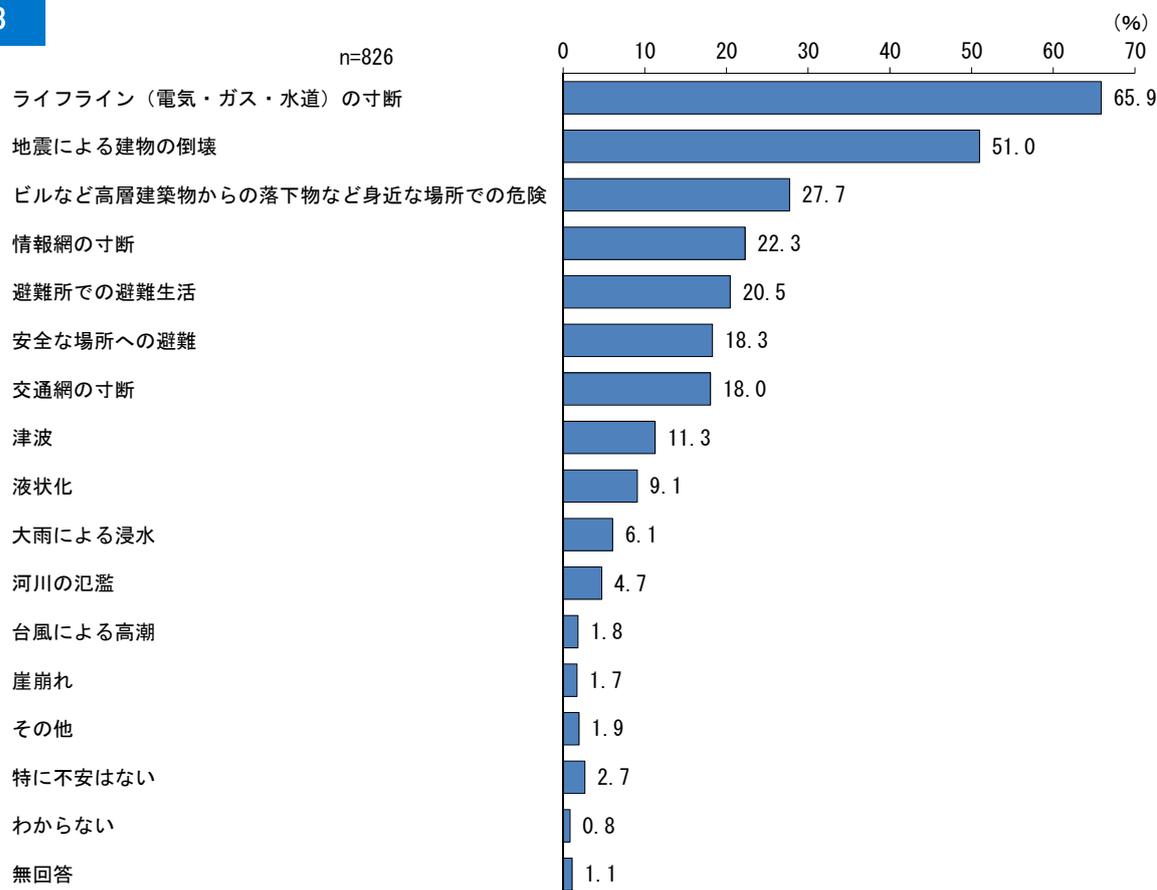
図12



## 8 災害対策

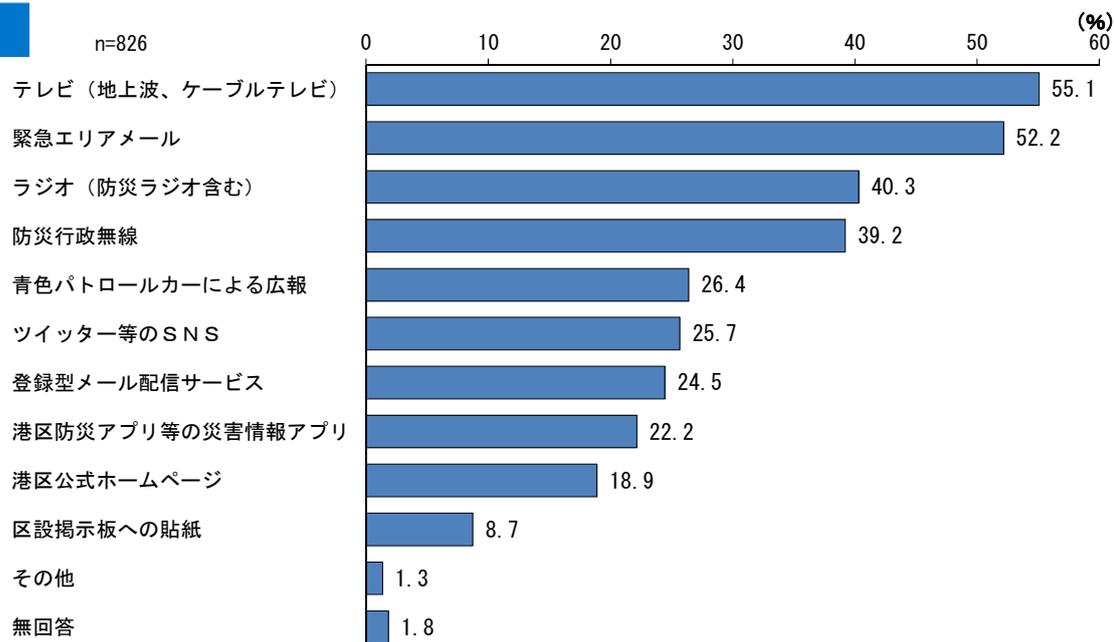
住まいの地域で自然災害についてどのような不安を感じるか聞いたところ、「ライフライン（電気・ガス・水道）の寸断」(65.9%)が6割半ばで最も多く、次いで「地震による建物の倒壊」(51.0%)、「ビルなど高層建築物からの落下物など身近な場所での危険」(27.7%)、「情報網の寸断」(22.3%)と続いています。(図13)

図13



災害発生時の情報収集手段として、どの方法が有効だと思うか聞いたところ、「テレビ（地上波、ケーブルテレビ）」(55.1%)が5割半ばで最も多く、次いで「緊急エリアメール」(52.2%)、「ラジオ（防災ラジオ含む）」(40.3%)、「防災行政無線」(39.2%)と続いています。(図14)

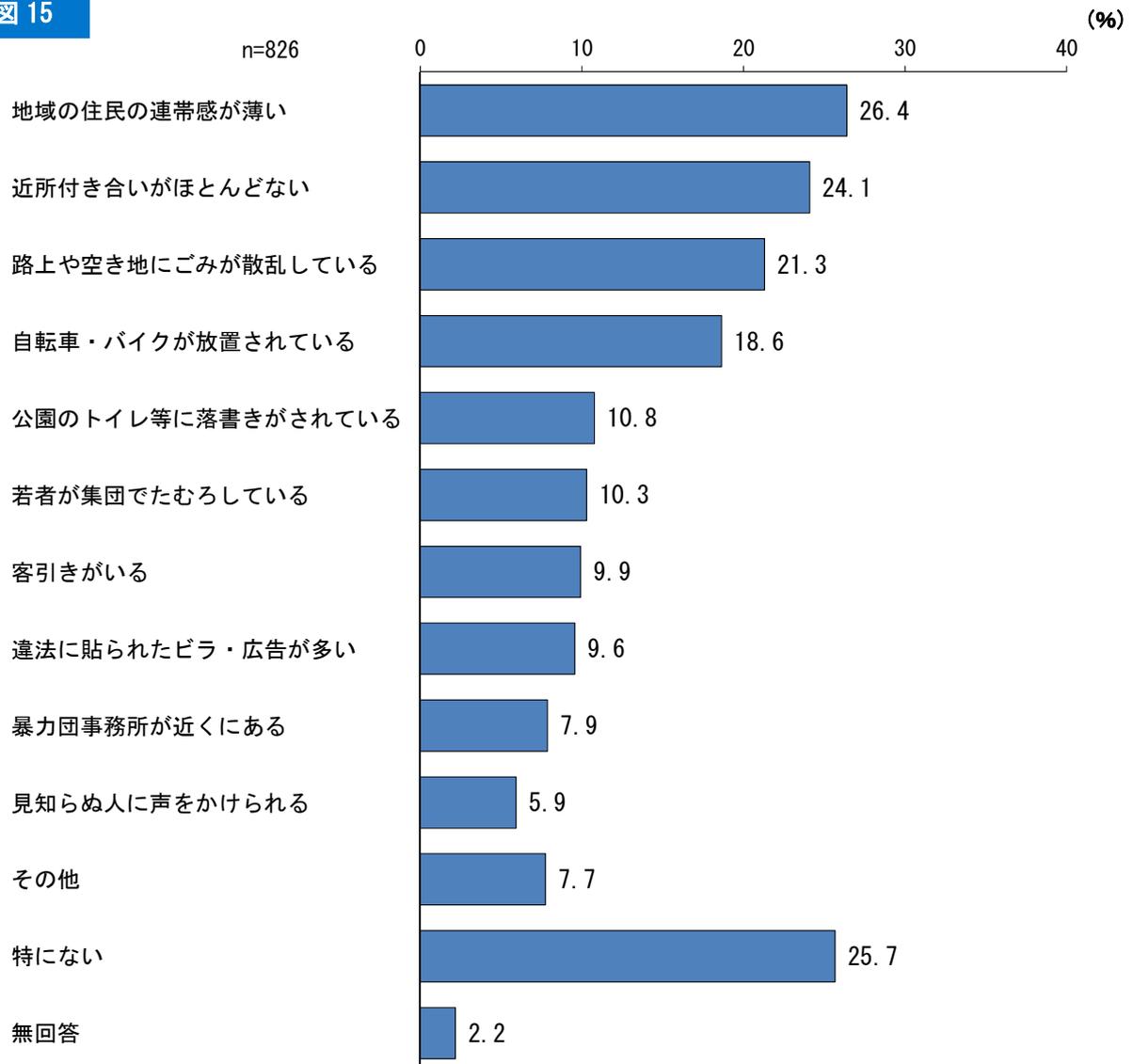
図14



## 9 生活安全

普段、自分自身を脅かすのではないかと不安を感じることはあるか聞いたところ、「地域の住民の連帯感が薄い」(26.4%)が2割半ばで最も多く、次いで「近所付き合いがほとんどない」(24.1%)、「路上や空き地にごみが散乱している」(21.3%)と続いています。一方、「特にない」(25.7%)は2割半ばとなっています。(図15)

図15

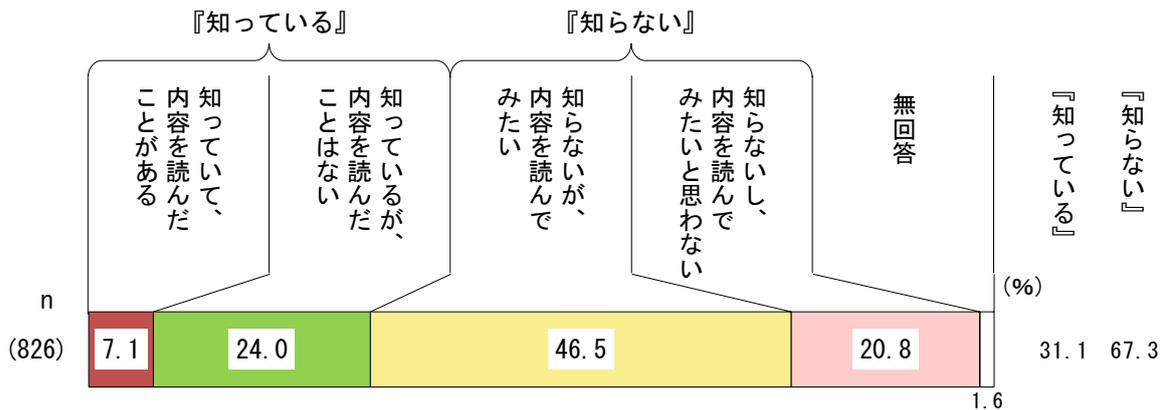


## 10 平和

「港区平和都市宣言」を知っているか聞いたところ、「知っている、内容を読んだことがある」(7.1%)と「知っているが、内容を読んだことはない」(24.0%)を合わせた『知っている』(31.1%)は3割を超えています。

一方、「知らないが、内容を読みたい」(46.5%)と「知らないし、内容を読んでもいいと思わない」(20.8%)を合わせた『知らない』(67.3%)は7割近くとなっています。(図16)

図16



平和の大切さを伝えるためにどのような取組が必要か聞いたところ、「戦争当時の写真や実物資料の展示」(36.8%)が4割近くで最も多くなっています。(図17)

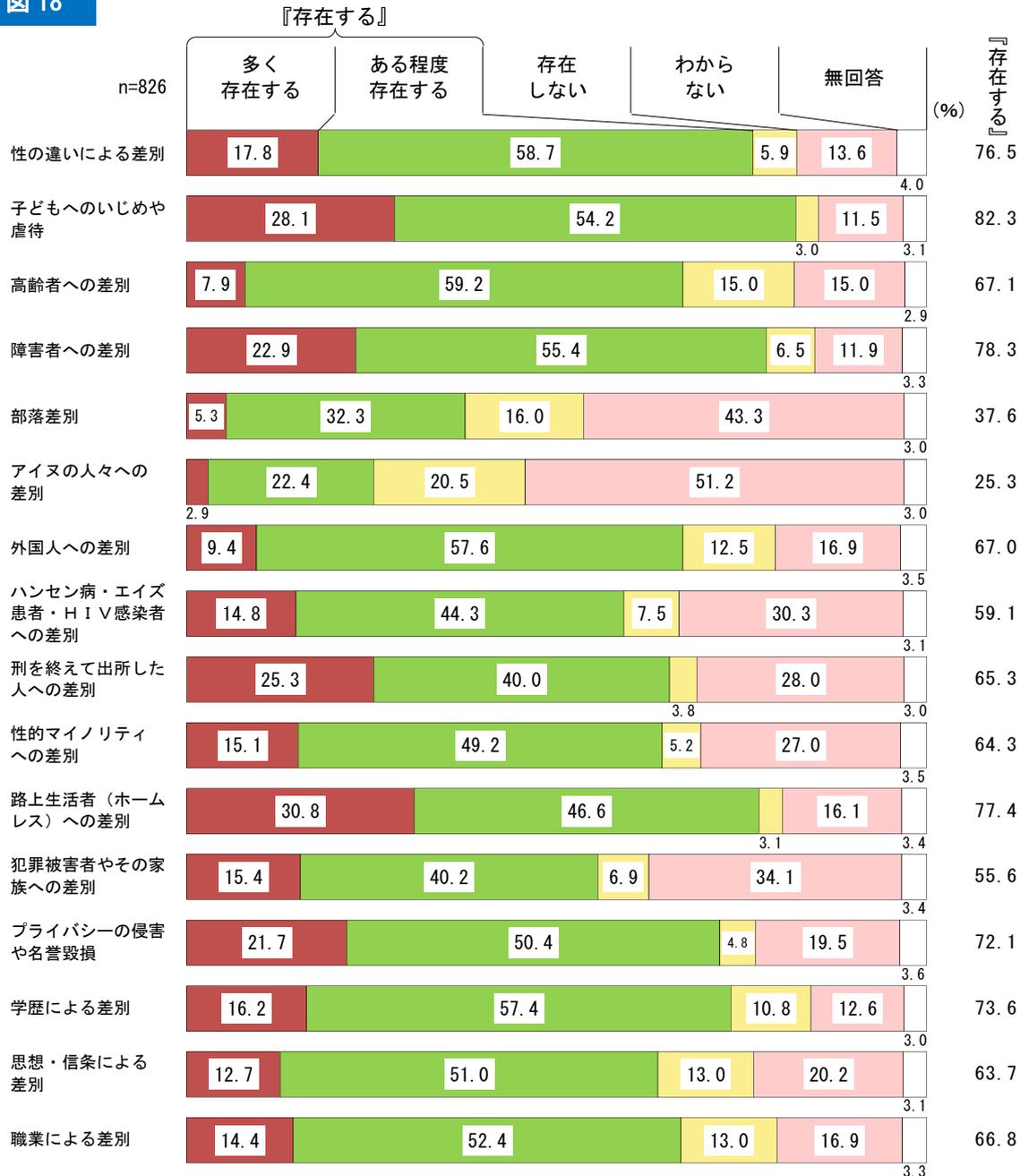
図17



# 1 1 差別

現実の社会で差別はどの程度存在すると思うか聞いたところ、「多く存在する」と「ある程度存在する」を合わせた『存在する』と思う人の割合は「子どもへのいじめや虐待」(82.3%)で8割を超え、「障害者への差別」(78.3%)、「路上生活者(ホームレス)への差別」(77.4%)、「性の違いによる差別」(76.5%)で8割近くとなっています。(図18)

図 18



## 第31回港区民世論調査報告書概要版 MINATO OPINION

平成30年(2018年)3月発行

【編集・発行】 港区企画経営部区長室  
 港区芝公園1丁目5番25号 電話03(3578)2111(代表)  
 刊行物発行番号 29289-5861



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。  
 この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。